

あくていぶ



わがまちたかつき
切り絵紀行

ジャズストリート(阪急高槻市駅城北町)
切り絵 作: 生地 高芳(高槻市在住)

特集

動物の命、私の命、たいせつな命

あちこち訪問

奈良県営 うだ・アニマルパーク

入園・
駐車料金
無料



今年は
ウシ年
だよ～



奈良県宇陀市大宇陀小附75-1 ☎0745-87-2520

■ 動物学習館の利用時間：9～17時 ■ 休館日：毎週月曜日／年末年始（12月28日～1月4日）

うだ・アニマルパークは「命の大切さ」を学び、「生きる力」を育む場となるように平成20年春に開園されました。広大な敷地の中に、動物とふれあえる「ふれあい広場」、思い切り身体を使って遊べる「展望広場」、バターなど加工体験できる「動物学習館」と、奈良県中和保健所（動物愛護センター）が併設されています。訪れた秋晴れの日もお弁当を持った親子連れや、ペットを連れて遊びにいられている姿が見られました。動物学習館で行われる「いのちの授業」プログラムは、私たちと動物の「いのち」がよりよく生きるために、どのような責任を負い、果たすべきなのかを考えることを目的としています。

どんなプログラム？

小学生向きは、3つのプログラムで構成されています。

1つ目のプログラムは、動物と人との関わりに気づくこと。「張り子（はりこ）」と呼ばれる動物の形の置物を「ペット」「家畜」「野生」の3つに振り分け、それぞれの場面で関係や役割を考えます。

2つ目のプログラムで、動物も私たちと同様に生きていて（寝る、息をする、ウンチをする）、**必要なものがあり**（お布団で寝たい、ご飯が食べたい、安全な場所）、**感情**（退屈は嫌い、寂しい、うれしい）があることを共感します。心音計という道具で動物や、自分と友達の心臓の音を聞いて、動物やお友達も音・速さが違い、いろんな命があることに気付きます。

3つ目のプログラムで、自分ならできる「動物との約束事」をします。感想文にペットは家族の一員で、えさと水をあげ、散歩したり、病気の時には病院へつれていく。家畜には小屋をきれいにし、命をいただくことに感謝して給食を美味しく残さず食べる。野生動物には自然を共有していることを忘れず、ゴミは持ち帰る、そっとしておく等の約束事が書かれています。

中・高校生向きプログラムは、動物も人も幸せになる社会は「どんなことができれば」「どんなルールがあれば」「どんな仕組みがあれば」いいのかを、動物福祉の指針「5つの自由」

- ① **怪我や疾病からの自由**（痛みや怪我、病気から守られること）
- ② **不快からの自由**（温度、十分な空間など快適な環境をつくること）
- ③ **飢えと渇きからの自由**（健康維持のための必要な食事や水を与えること）
- ④ **本来の行動の自由**（各々動物の生態、習性に従った行動ができること）
- ⑤ **恐怖や不安からの自由**（過度なストレスや抑圧を与えないこと）

をもとに検証します。

応用編で『ペットを飼い続けることが困難になった高齢者の夫婦』『野生動物の被害を受けている里山の農家』という事例から考え、展開編で、併設される動物愛護センターを見学し、社会全体で飼育放棄された動物を減らす取り組みが必要であることを学びます。



張り子たち



熱く授業をしていただいた
うだアニマルパークの
桂木さん、森井さん



参加者の感想

- 動物園とまではいきませんが、動物との距離がすごく近い公園です。園内はきれいに手入れされ、幸せそうな動物の姿が印象的でした。
- 張り子を振り分けながらウサギはペット？ アンゴラだから産業動物？ 野生もいるよね。カラスは街中で見るけど、野生動物？ 考えると、関係が想像以上に近い。人間が自然界に与える影響の大きさを感じました。山を人間の都合で切り開き、排気ガスを振りまき、騒音を掻き立てすみませんでした。きっと嫌だったよね。
- 『動物愛護』をはじめ、『食育』『環境教育』『表現力』『人権教育』『生命尊重』など多角的な分野の教育が小学1年生からと早い段階に取り入れられ、昨年は県内約60校に出向かれ授業を実施されたそう。ぜひ高槻でも「いのちの教育」プログラムを実施してほしい。
- ポリ袋が有料化になって山や海のゴミが減ったかと思いきや、コロナで使い捨てマスクのポイ捨てが増え、動物や魚にマスクのゴムがからみついて被害が出ているそう。人間が地球（自然）にとって最大のウイルスにならないようにと思います。
- 熱心に授業を教えてくれるのは、現職の学校の先生。命の大切さの教育を、県の事業として位置づけて取り組まれ本気度を感じました。

コラム

新型コロナウイルス禍での新生活様式と人権

高槻市人権まちづくり協会 人権啓発指導員 岩崎 律雄



令和2（2020）年1月、日本で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されました。あれから一年が過ぎました。

私たちにとって、これほど身近な出来事として感じ、考えさせられたことはない一年だったと思います。そして、現在も全世界で感染がおさまるところか拡大し続けています。

生活の中に入り込んだコロナ！ 「新語・流行語」から

令和2（2020）年末に発表された「今年の漢字」が京都の清水寺で「密」と発表されました。

さらに、昨年の「新語・流行語大賞」が「3密（さんみつ）」だったことは記憶に新しいことです。その際、大賞候補の「30語」に選ばれた内の15個までが、新型コロナウイルス関係でした。いかに、私たちの生活の中に入り込み、大きな影響を与えていたかが分かります。

私たちの何が変わったのか

新型コロナウイルスの対策で一番に叫ばれたのが「3密」（密閉・密集・密接）を避けるということでした。一年が経過した現在、そして東京・大阪を中心とした第二回目の「緊急事態宣言」の中心的な対策も、この「3密」対策に変わりはありません。私たちの生活で一番の変化ではないでしょうか。

コロナ禍での人権の問題

「新語・流行語」の候補に、「自粛警察」があがっていました。感染した人が悪いと非難し、個人の家や事業所に張り紙をしたり、電話での嫌がらせなど、感染防止の名のもとに勝手に市民が取り締まりをする行為です。

当たり前のことですが、新型コロナウイルスにかかった人を憎むのではなく、悪いのは新型コロナウイルスです。このような感染症に関わる「偏見」や「忌避（きひ）」は、いわれのない「部落差別」と同じように、人権侵害以外の何ものでもありません。

正しく知り、差別のない世の中に

世界では、新型コロナワクチンがようやく増産、接種が加速してきました。日本でも2月末から医療関係従事者や基礎疾患のある人に接種していくようです。

今回の新型コロナウイルスは、人類が克服するのは間違いありません。一方で人間の弱さとしての「人権の問題」も明らかになりました。新型コロナウイルスに人類が打ち勝ち、次に起こりうる事態に対応するためにも、物事を「正しく知り、人権を尊重した差別のない」世の中に、みんなできていかなければなりません。

気持ち、命が元気になる

おすすめ図書

協力：高槻市立中央図書館（網さん、野田さん、平松さん）

高槻市立中央図書館からのおすすめ図書



「もしかしたら maybe」

コビ・ヤマダ 作

出版社：パイ インターナショナル（2020/12）

あなたは、あなたしかできないことをするためにこの世に生まれてきたのです。叶はずがないと思っていたこともきっとできる。勇気がない時に背中を押してもらえる一冊です。



「ゆっくり前へ ことばの玩具箱」

おもちゃばこ

ひきたよしあき 著

出版社：京都書房（2015/5）

人生を前向きに考える、現状打破のきっかけになるような「ことば」にまつわるエピソード集。心に寄り添う「ことば」がひとつでも見つければ。



「いろいろな いろんな かぞくのほん」

メアリ・ホフマン 文

出版社：少年写真新聞社（2018/2）

世界にはいろいろな家族の形がある。国、文化、考え方も違う。でも、幸せを望むのはみんな同じ。楽しいイラストで違いを認め合う大切さがわかる絵本です。



「生きる」

谷川俊太郎 詩 岡本よしろう 絵
出版社：福音館書店（2017/3）

コロナ禍により今まで当たり前だった生活が一変してしまいました。私たちが生きている何気ない生活を大切に、「生きる」ということを考えさせられる本です。



「チェロの木」

いせひでこ 作 偕成社（2013/3）

森の木々を育てた祖父、その木で楽器を作った父、楽器の先生になったわたし。チェロという楽器を通して森や命とのつながりを感じさせる、水彩画のような美しい挿絵の絵本です。

高槻市人権まちづくり協会からのおすすめ図書

情報誌「あくていぶ」編集チーム推薦 子どもと一緒に読みたい

「気持ちの本」

森田ゆり 作 出版社：童話館出版（2003/7）

表紙は子どもたちが描いた、いろんな表情の顔で、絵本かな？と思いつつも…。「あなたの どんな気持ちも 大切だよ」の言葉に安心と勇気と希望をもらいました。

なんか気持ちがすれ違ったとき、親子で一緒に読みたい本です。



人権啓発指導員推薦 動物好きのあなたにおすすめ

「動物の死は、かなしい？」

元旭山動物園 飼育係がつたえる命のはなし

あべ弘士 著 出版社：河出書房新社（2010/8）

「ラクダにかまれ、ゾウを看取り、オオカミの夫婦愛の強さに言葉を失う。」飼育係で接してきた動物の生と死を見つめることで、人間の「命」そして私の「命」について考えるきっかけにしてくれます。



地域が元気でいきいきと

コロナ禍で規制、自粛が強られる中、「不安から心が弱くなった時だからこそ人権を大切に」と感染症対策を徹底し、3密を避ける工夫を講じ、人権啓発活動を行ってきました。

難しく考えずに、まずはLet's try!

手話は言葉です!

マスクで顔を覆ってしまう昨今、表情や声が伝わりにくいことはないですか？ 手話でエンターテインメントを発信する「oioi(オイオイ)」さん。底抜けに明るい講座の時間は、手話を難しく考えず簡単なジェスチャーでOK。「ご飯を食べる」しぐさが、そのまま手話だったことに驚きました。



▲手話でクイズやラジオ体操! 結構息があがりました

令和2年4月1日、高槻市手話言語条例が施行されました。手話は手や指、体の動き、顔の表情を使う「目で見ることば」です。

遠くに行けないなら、
地元のこともっと知ろうよ



3密を避け、野外で人権フィールドワーク。いつもは車や自転車でサッと通り過ぎてしまう道を、ステイホームの運動不足解消を兼ねて、歴史を学びながらゆっくり散策。

(第七中学校区地区単位会)



違いがあるからおもしろい

(第一中学校区地区単位会・城内公民館ふれあいアップ講座)

上手くいかない、悪いことが起こった…逃げていいんです! 人が歩める道は一本だけじゃない。他の人が生きる道を無理に目指さなくてもいいんです。



▲講師: 講談師 玉田 玉秀齋さん

「命をまもろう」平和な毎日に感謝して、第10回校区ミニ平和展

(第六中学校区地区単位会、冠中学校区地区単位会共催)

10周年を迎えるこの企画は、金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」「大漁」「積った雪」をあわせて紹介。「積った雪」の詩は、「さむかろな」「重かろな」「さみしかろな」と、立場が違ってもお互い思いやる気持ちが素敵です。見えないものに心を寄せ、相手の立場になって物事を見ること、考えることの大切さを伝えたく思い展示しました。(冠中学校区地区単位会)



積った雪 金子みすゞ
 上の雪
 さむかろな。
 つめた月がさしていて。
 下の雪
 重かろな。
 何百人ものせていて。
 中の雪
 さみしかろな。
 空も地面もみえないで。

*原文のまま掲載しています



ともに幸せに暮らせる社会

～つながりたい ひろがりたい ともに生きたい～

令和2(2020)年12月11日(金)～12日(土)の2日間にわたり、市立生涯学習センター1階展示ホールで、特別展示「障がいてどこにあるの? ところと社会のバリアフリー」を開催しました。

障がいでなく高齢、病気や妊娠などで社会にバリアを感じるときでも、誰もがどんな場面にも社会参加できるよう、社会の困りごとに気付いていきたい。施設や設備だけでなく、心も隔たりなくつながり、ともに幸せに暮らせる社会をつくりたい。社会や人の心の中にあるバリアなどのパネルを展示し、両日で約300名の方に来場いただきました。

会場では、高槻市バリアフリー基本構想「人にやさしいまち 人がやさしいまち」の一環で、高槻市内小学4年生を対象に行われる「高槻市バリアフリー総合教育」の様子を紹介。訪れた保護者から、「学校でこのような機会があることを知りませんでした。周りに障がいがある方がいないので、気づきのいい体験をさせていただきました」と感想を頂きました。



会場を訪れた方の感想

- * 高槻も随分バリアフリーが進んだように思いますが、ちょっとした階段に手すりがあればいいのにと感じることもあります。高齢者、障がい者にやさしい、安心して暮らせるまちづくりにしてほしい。
- * 知っているようで知らなかったこと。今後は障がいに対して、また違った見方で接することができる様に思います。
- * 人権について、この企画(子ども、学校)を通じて考えるきっかけができたと思います。そして、その考え方も人によって違う事、自分では思いつかなかったことを気づかせてくれました。
- * 高槻の小中学校でも人権に関する活動をしていると知り、うれしく思いました。小学4年生対象の出前授業が毎年高槻市内のどの小学校でも受けられたらいいのになと思いました。
- * 「障がい」と聞くと他人ごとだと思っていましたが、年を重ねると買い物に行くのにも大変。社会から見ると加齢も「障がい」。自分のことになってみないと気づけないのが残念。

令和2(2020)年度人権啓発作品入選作品展示

令和2(2020)年12月11日(金)～12日(土)、令和2年度人権啓発作品入選展示を行いました。今年度は小中学校、一般から作文317点、標語585点、絵画246点、合計1,148点の応募があり、11月6日(金)に行われた作品選考会において各部門で最優秀賞1点、優秀賞4点、佳作10点の入選作品が決定しました。



会場を訪れた方の感想

- * 子どもたちの作文や作品を見て、しっかりした考え方をもっている事を嬉しく思いました。考えさせられることが多くあり、私もしっかりしないといけないと思いました。
- * インターネットや SNS の人権侵害など新しい課題について真剣に考えられていて、素晴らしいと思いました。
- * 子どもたちの文章や絵に込められた思いがこれからも叶うといいなと思いました。

令和2(2020)年度人権啓発作品入選者



令和2年度「絵画の部」最優秀賞▶

作文部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	田中 琴乃	SNS普及による被害	城南中学校2年生
優秀賞	平山 ありさ	平和と人権	第三中学校2年生
優秀賞	上田 くう莉	勇気のある人	城南中学校2年生
優秀賞	小路谷 来愛	常識と当たり前	城南中学校2年生
優秀賞	谷本 紗代	障害と障がい	城南中学校2年生
佳作	<ul style="list-style-type: none"> ▶第三中学校2年生 笹部 咲生 ▶第三中学校2年生 宮村 優佳 ▶城南中学校2年生 井上 望緒 ▶城南中学校2年生 神之田 星那 ▶城南中学校2年生 二階 美妃 	<ul style="list-style-type: none"> ▶第三中学校2年生 藤田 心夏 ▶城南中学校2年生 荒金 すずか ▶城南中学校2年生 柏木 陽奈 ▶城南中学校2年生 高瀬 絢菜 ▶城南中学校2年生 廣瀬 みのり 	

標語部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	若原 綸花	命はね みんなが持つてる たからもの	如是小学校4年生
優秀賞	青山 千倅	勇気を出して 話してみよう! その行動で自分が変わる	富田小学校6年生
優秀賞	植田 百音	体の傷は治るけど 心の傷は治らない	富田小学校6年生
優秀賞	富島 隼友	ぼくのとも いっぱいいるよ だいすきな	若松小学校3年生
優秀賞	山根 由大	戦争をなくしていくのは 自分たち	真上小学校4年生
佳作	<ul style="list-style-type: none"> ▶如是小学校4年生 高橋 柚月 ▶桜台小学校1年生 清水 柚希 ▶北清水小学校5年生 野口 光希 ▶冠小学校4年生 林 星歌 ▶若松小学校4年生 米原 響 	<ul style="list-style-type: none"> ▶桜台小学校1年生 椎葉 翠虹 ▶北清水小学校5年生 谷口 瑛斗 ▶冠小学校4年生 荒木 蓮介 ▶若松小学校2年生 増山 エリサ ▶真上小学校6年生 豊田 夏凜 	

絵画部門

入選	名前	作品名	学校名等
最優秀賞	河野 百花	かんがえて その一言が 差別になる	柱本小学校5年生
優秀賞	亀田 果歩	平和を願う	清水小学校6年生
優秀賞	石井 月渚	平和な世界へ ～平和への願い～	五領小学校6年生
優秀賞	田邊 倫香	笑顔あふれる世界	五領小学校6年生
優秀賞	宮西 彩生	えがおあふれる町に	柱本小学校4年生
佳作	<ul style="list-style-type: none"> ▶清水小学校6年生 甲斐 爽奈 ▶清水小学校6年生 岸菜 心陽 ▶五領小学校6年生 杉中 玲月 ▶五領小学校6年生 中西 晏彩 ▶柱本小学校4年生 中村 梨愛 	<ul style="list-style-type: none"> ▶清水小学校6年生 川嶋 彩夢 ▶五領小学校6年生 加地 悠愛 ▶五領小学校6年生 高岡 芽生 ▶五領小学校6年生 湯地 百花 ▶柱本小学校5年生 田上 稀実加 	

市長から最優秀賞が授与されました

令和2(2020)年12月23日(水)、市役所特別会議室で令和2年度人権啓発作品入選者の表彰式が行われました。

少し緊張した面持ちの作文、標語、絵画の各部門の最優秀賞受賞者3名に、濱田市長から賞状が授与されました。その後懇談の時間が設けられ、市長から「最優秀を取るのすごいこと。自信をもって頑張ってください」と激励の言葉が送られました。作文の部で最優秀賞を受賞した田中さんからは「市長さんから賞状が頂けて思い出になりました。これからも身近な人権について深めていきたいと思います。」と感想を頂きました。



人権講演会 心の豊かさを求めて

テーマ 「障がいのある娘とともに歩いて見えてきたこと」

元NHKアナウンサー・「関西発ラジオ深夜便」アンカー
住田 功一さんをお迎えして

日時 令和3年6月5日（土）14時～（開場13時30分）

会場 市生涯学習センター 2階多目的ホール

定員 申込順 先着150名

（5月初旬から申込受付：詳しくは高槻市広報（たかつきDAYS）5月号、当協会ホームページをご覧ください）

問合せ・申込先 （一社）高槻市人権まちづくり協会



手話・
要約筆記
あり

保育あり
3歳以上未就学児
5名まで
要申込

平和に関する展示に寄せられた
折り鶴を奉納しました



令和2（2020）年8月3日～16日、市役所で開催された平和に関する展示「終戦の日の記憶 ～花に寄せられた平和への思い～」で市民や各団体から寄せられた千羽鶴を広島の平和公園に奉納しました。

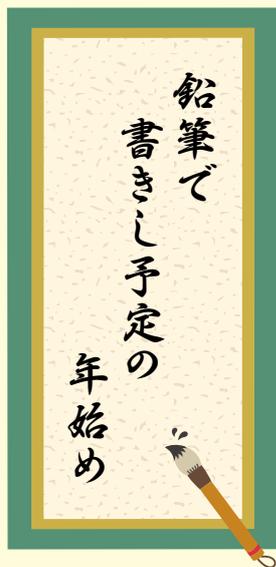


編集後記

正月過ぎ、「たかつき DAYS」で募集していた、今城塚・如是両公民館の講座に申し込んだ。ところが、2度目の緊急事態宣言が発令され、中止の連絡を受けた。毎週参加していた三箇牧公民館の卓球とヨガは、昨年からずっと自粛。予定表は見事に真っ白で、日々コタツを抱いて、映像と活字を追うだけの「コタツムリ生活」。最近カレンダーも手帳も何度でも修正のきく鉛筆を愛用。

それにしてもシンプルライフをモットーとしているはず？が、ゴミ屋敷と化している趣味のグッズ部屋。この機会に片付けようと思っているのに、未だ手付かずで、自分がいかにズボラな人間か、やっと気付いた。

この冊子発行の頃には、皆でこの難局を乗り越え、文字通り「春の訪れ」となっていたら、この上ない。



ひとりで悩まずに
ご相談ください！

Don't worry alone.
Consult with us First.



人権イメージキャラクター
人KEN まもる君
人KEN あゆみちゃん

様々な人権問題に関する相談はこちら

みんなの人権110番
0570-003-110



セクハラ・家庭内暴力など女性の人権の相談はこちら

女性の人権ホットライン
0570-070-810



Human Rights counseling in foreign languages.
You can consult Human Rights issues.

Telephone Counseling
0570-090-911



Counseling on the Internet
English・Chinese



出典：法務省人権局ホームページ
(<http://www.moj.go.jp/JINKEN/index.html>)